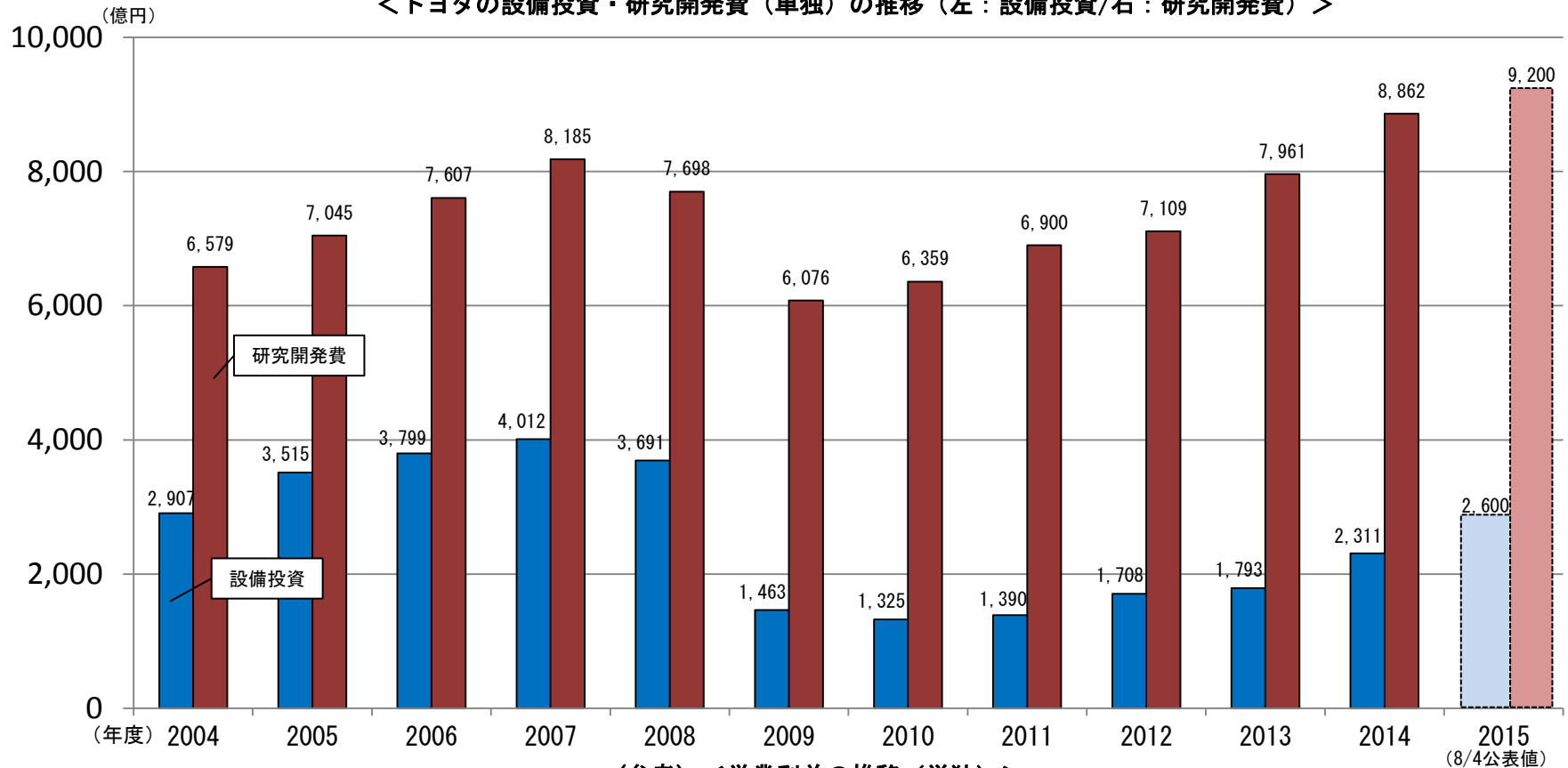


- ・自動車産業は、限られたリソース（人/金/時間）の中で、魅力ある商品をいち早く市場に投入するために、適正範囲内での設備投資と、将来の成長に資する研究開発投資が必要。
- ・トヨタは、リーマンショック前まで規模の拡大を重視していたが、その後、既存事業の体質強化へ方針転換。
- ・現在は、持続的成長に繋がる真の競争力強化に向けて、着実な投資を実施。

＜トヨタの設備投資・研究開発費（単独）の推移（左：設備投資/右：研究開発費）＞



(参考) ＜営業利益の推移（単独）＞

年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015 (8/4公表値)
営業利益 (単独)	7,013	8,479	11,509	11,086	-1,879	-3,280	-4,809	-4,398	2,421	12,690	12,706	14,300